

令和7年度第3回富津市学校運営協議会（吉野小学校）会議録（要旨）

○ 参加者

〔会 長〕 坂部 充洋

〔副会長〕 川名 泰

〔委 員〕 三富 敏史、鈴木 金平、池田 昌昭、重田 寿子、
岡村 文子、熊澤 一幸、山口 梓、三浦 貴子

〔事務局〕 斎藤 正典

○ 概要

1 始めの言葉

2 会長挨拶

3 校長挨拶

4 授業参観

○校内巡視を含む

5 緊急時の対応について

○大規模地震発生に伴う、保護者への引き渡し訓練参観

6 協議

（1）教育活動について

○事務局から9月及び10月の活動について資料にて説明。

＜出された意見等＞

○授業を見て安心した。教師は児童一人一人から意見を聞き取っていた。

○児童も安心してみんなの前で発表していた。失敗しても受け入れてくれる雰囲気ができている。いじめ防止の掲示物を見たとき、安心できる仲間関係だと感じた。

○教師と児童とのコミュニケーションが良好であった。

（2）南房総教育事務所所長訪問の結果について

○事務局から別紙資料にて説明。

（3）運営協議会委員の皆様から

○それぞれの立場から取り組んだことや、今後の予定について発言があった。

＜出された意見等＞

○児童は明るいし、声をかけてくれる。挨拶もきちんとできている。

○PTAの皆さんも地域に出て学校のために活躍してくれている。

○学校の様子がホームページを見てわかる。

○吉野の子は学校や吉野の地域をよくしようと考えている児童もいて、地域のこともよくわかっている。社会に出たときに堂々と立ち振る舞えるようになると思う。

○朝の登校等、歩き方がよくない場面もあるが、上学年の児童が下学年の児童の面倒をよく見ている。

○昼間から通学路にイノシシが出ており、点検を検討していかなければならない。

○椅子の高さが合っていない児童が見られた。足がぶらぶらしてしまうため、高さの調整をしてほしい。

○PTAサポーターの活動が多くなってしまっている。活動量や内容の厳選が必要である。

○学校が中心になって地域連携するのではなく、地域が中心となってセッティングとか交渉とかをする方がよいのではないか。

7 連絡

○第4回学校運営協議会 12月10日（水）9時10分から

8 終わりの言葉

別紙資料 南房総教育事務所所長訪問の結果について

1 施設設備点検について

○おおむね安全に管理されている。児童も歴史ある校舎を大切に使っていると感じた。

○刃物類の数の管理や転倒防止対策など、安全管理に引き続き注力していただきたい。

2 全体会について

○備え付けなければならない諸表簿は見やすく整えられていて、適正に管理されていた。

○会計等、事務関係も適正に処理されていた。正確で迅速な処理のためにもダブルチェックをお願いしたい。

○不祥事は「なくてよかった、減ってよかった」ではなく、0でなければならない。あってはならないこと。計画的に研修を実施している様子がわかった。

○必ず外部の人に施設設備を一緒に見てもらう機会を設ける。

○田中所長より

・子供たちの姿がすばらしく、それを実現するためにたくさんのご苦勞もあったと校長先生からうかがっている。

・鍛えあい～満足の下校・・・子供たちの掲示物からも、授業を拝見した中での子供たち自身の支えあい、手助けからも感じられた。

・先生と子供たちが日々いい関係で過ごされているのがわかる。先生方の表情から子供たちも安心して学校生活を送っていると感じた。

・学習規律が学校で徹底されている。元気の良さを残したまま、メリハリもある。

先生それぞれに目指すものがある中で、学習規律をそろえたりすることは、どの先生に見てもらっても安心するということにつながる。

・くつそろえ、挨拶、学校もきれい。しつけだけではない、心のゆとりが現れる。ぱっとおいて終わりではなく、そこでそろえる余裕がある。

・いじめ0宣言も、「いやなことをしている人をすぐとめる」というのはよくある。「理由をきく」というところまで心を育てている。

・授業力向上、理想的な授業を実践している教員がいっぱいいる。ぜひ共有をするとよい。

・子供たちが気分良く帰るだけで、いくつかの問題は解決できている。先生といると子供たちが自然と笑顔になる、今の状況を大切にしてほしい。